第 62 回　長野市公共交通活性化・再生協議会　議事概要

1. 日　時　　令和 8 年 10 月 26 日（月）　午前 10 時から午前 10 時 50 分

2. 場　所　　長野市役所第一庁舎 7 階　第一・第二委員会室

3. 出席者　　委員 29 人、欠席 2 人、事務局職員 6 人、

4. 次　第
   1　開会
   2　あいさつ
   3　協議事項
      (1) 第二次長野市地域公共交通計画（素案）について
      (2) 生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備）の策定について
      (3) その他
   4　その他
   5　閉会

（議事概要）
   3　協議事項
      (1) 第二次長野市地域公共交通計画（素案）について
         事務局から資料 1-1、1-2、1-3 を用いて報告　本件は了承された
         [意見等]
         (A 委員)
         ・資料 1-1 の 1　東日本旅客鉄道㈱長野事業本部様からの意見に対する反映内容の理由として、『多くの市町村に跨る広域な輸送路線については、上位計画である長野県地域公共交通計画において、県が主体的に関与し・・・』と記載されている。広域な輸送路線には地域間幹線も含まれると考えるが、P59 事業 11-2 への追記内容は鉄道に限定されている。広域な輸送路線に県が主体的に関与するのであれば、P59 事業 11-2 に追記の文言を鉄道に限らないように記載すればいいと考える。また、P43 の広域路線においても、地域間幹線として県の公共交通計画で決定される項目だと思うので、県が主導、主体的に関わることが分かるような文言、説明を入れられればよいと考えたがいかがか。

（事務局）

・P59「事業 11-2　鉄道・バスの利用機会の創出」においては、鉄道だけでなく、バス路線についても県の関係機関の支援をいただきながら、一緒になって取り組む部分もありますので、記載を改めさせていただくとともに、P43 についても、注釈に県が関わっている旨を追記させていただければと考えている。

・表記については、県とも相談しながら追記させていただく。

（B 委員）

・P61「事業 12-4　商業施設、市内企業とのタイアップ」について、大型商業施設だけでなく、各地の商店会や個別の店舗もこの事業に参加できるような形にしていただければと考えている。

・「関連・連携機関」の欄が空欄になっているが、長野商店会連合会を加えていただきたい。

（事務局）

・インセンティブの導入等については、長野商店会連合会様にも御協力をいただきながら取り組んでいかなければならないと認識している。「関連・連携機関」の記載についても、御意見を取り入れていけたらと思う。

（C 委員）

・前回協議会の意見をもとに、鉄道事業者各社にヒアリング等を行い、運営上の課題を記載いただき感謝申し上げる。

・P21　表 2-4「公共交通カバー圏域の人口と面積」について、鉄道 600ｍをカバー圏域として採用しているようであるが、この数値の根拠は何か。国土交通省のハンドブックによると、鉄道 800ｍが標準となっている。鉄道 600ｍに異議があるわけではないが、採用する根拠を記載したほうがよいと考える。例えば、積雪や標高差を踏まえたのか、他の都市に倣ったのか等、様々なことが推察されるが、当該ページに根拠の明記があればよい。

（事務局）

・カバー圏域の鉄道 600ｍ バス 300ｍについては、現計画で採用している基準となっている。ただ、委員のおっしゃるとおり、国の「都市構造の評価に関するハンドブック」では鉄道 800ｍ バス 300ｍと記載をされているが、「国土交通省地域公共交通づくりハンドブック」では、駅から半径 500ｍ以上といった記載もあり、バラツキがある状況である。また、他市の状況については、多くの都市が鉄

道 800m バス 300mを採用しているところが多いので、参考値として併記させていただいた。本市においては、より歩きやすい距離として厳しめに設定している事情に加え、過去計画との比較が行えるため、鉄道 600mを採用したものである。

・いただいた御意見については、表記方法も検討しながら、計画に追記していければと考えている。

（C 委員）

・記載については一任させていただく。

(2) 生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備）の策定について

事務局から資料 2 を用いて報告　本件は了承された。

[意見等]

（D 委員）

・福祉関係の話になるが、各住民自治協議会に福祉自動車があり、それぞれ各 1 台を運用しているが、運転手不足が問題になっている。利用者は多いものの、皆様の希望に沿えるような運行状況にないため、このような福祉タクシーが増えるのはとてもいいことであるが、利用者の負担軽減についても、県や市で検討していただければと思う。

（事務局）

・地区社協で取り組んでいただいている福祉有償運送については、通常のタクシー利用が難しい方を対象とする事業であると承知している。また、その運営に対する課題について、福祉部署、市社協と情報を共有しているところである。各組織の役割分担を含め、どういった運用が適切なのか、研究を進めていければと考えているのでよろしくお願いしたい。

(3) その他

[意見なし]

4　その他

（事務局）

・次回の協議会は 1 月下旬の開催を予定している。よろしくお願いする。